

令 7 医療政策第 9 4 8 号
令和 8 年(2026年) 1 月 2 7 日

一般社団法人山口県医師会長 様

山口県健康福祉部医療政策課長

医療専門職支援人材活用セミナーについて

地域医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記セミナーについて、厚生労働省より周知依頼がありましたので、貴会会員宛て周知されますようお願い申し上げます。

なお、各病院宛てに別紙写しのとおり通知していることを申し添えます。

看護指導班 田中
〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号 (山口県庁 6 階)
TEL:083-933-2928 FAX:083-933-2829
E-mail:tanaka.fuuka@pref.yamaguchi.lg.jp



令 7 医 療 政 策 第 9 4 8 号
令和 8 年 (2026 年) 1 月 2 7 日

各 病 院 長 様

山口県健康福祉部医療政策課長

医療専門職支援人材活用セミナーについて

地域医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記セミナーについて厚生労働省から案内がありましたのでお知らせします。

このセミナーでは、看護補助者や医師事務作業補助者のような医療専門職支援人材の確保・定着に向けた取組等が紹介されますので、貴施設での取組の参考にしていただければと存じます。

<申し込みサイト><https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/>

<医療政策課関連ページ><https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/45/160829.html>

看護指導班 田中
〒753-8501 山口市滝町1番1号 (山口県庁6階)
TEL:083-933-2928 FAX:083-933-2829
E-mail:tanaka.fuuka@pref.yamaguchi.lg.jp

令和7年度

医療専門職支援人材

活用セミナー

医療専門職支援人材の
確保・定着に向けて

！オンライン開催！

参加費
無料

働き方改革の推進や医療の質の向上のため、医師・看護師等の医療専門職から看護補助者や医師事務作業補助者のような医療専門職支援人材(以下、支援人材)へのタスク・シフティングが重要とされています。

しかしながら、少子高齢化による人手不足等を背景に、必要な数の支援人材を確保することには課題があるのが現状です。

仮に確保できた場合でも、人材が定着しない、採用後の評価や育成をどうしたらよいか分からない、また、採用活動が常態化・マンネリ化してしまっている医療機関

の管理者の方や現場責任者の方も多いのではないのでしょうか。

そこで**本セミナーでは支援人材の確保・定着に向けた取り組みやその背景について実際の事例を交えながらご紹介**します。本セミナーにご参加いただき、医療機関の支援人材の確保・定着に向けた積極的な取り組みや、管理者としての支援人材に対する考え方をすることで、自院での今後の取り組みをより効果的なものとし、支援人材の定着に繋げていただければと存じます。

日時

2026

2

12
[木]

14:30~16:00

会場

オンライン(ウェビナー)

定員

900名(先着順)

対象

- 病院長 ● 事務長 ● 看護部長
- 看護補助者・医師事務作業補助者の部門責任者
- 医療機関の採用責任者・担当者
- 医療機関の人事責任者・担当者
- 都道府県 医療勤務環境改善支援センターの
医業経営アドバイザー及び医療労務管理アドバイザー 等

参加費

無料

申込締切

2026年2月9日(月)
12:00

※定数になり次第、受付終了いたします

参加申込みはこちら

<https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/>



令和7年度

医療専門職支援人材活用セミナー

医療専門職支援人材の確保・定着に向けて

プログラム

① 開会挨拶

5分

厚生労働省 医療専門職支援人材確保・定着支援事業 企画検討委員会 委員長 藤岡 丞 様
(医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 院長)

② 看護補助者の確保・定着に係る事例紹介

20分

看護補助者の人材確保と定着 ～シニア世代が働き続けられる職場づくり～

コロナ禍における医療提供体制の逼迫を背景に、看護補助の経験を持たないシニアを新たな人材として受け入れたところ、丁寧な研修と段階的な業務移行により、環境整備や基本的ケアなど多様な業務で能力を発揮しています。豊富な人生経験に基づく落ち着いた対応は患者の安心感につながり、チーム内の一員として定着しています。シニアが安心して働き続けられる環境づくりにも取り組んだことで、大きなやりがい、人材確保と現場負担軽減の双方に寄与しています。補助者の役割がシニアの新たな活躍の場として広がったことなどをご紹介します。

講師：日本赤十字社 神戸赤十字病院 看護副部長 坂根 千絵 様

③ 医師事務作業補助者の確保・定着に係る事例紹介

20分

多様性と新卒採用を活かした医師事務作業補助者の人材確保・定着に向けた取り組み

当院では医師の働き方改革とタスクシフト推進の中で、医師事務作業補助者の安定的な人材確保と定着に向けた取り組みを進めてきました。従来は女性のみで構成されていましたが、多様性の観点から男性職員の採用を開始し職場の活性化につながりました。また、新卒採用も進めると同時に、教育体制の強化と業務の標準化に取り組んできました。新人教育では、指導者2名体制を導入し、新人用ラダーや業務チェックリストを改訂することで、教育内容を均質化するとともに標準化された手順として業務へ定着しました。さらにICTを一部業務に導入し、作業効率化も図っています。採用に至る背景や導入の工夫、職場にもたらした効果や今後の課題についてご紹介させていただきます。

講師：医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 メディカルクラーク課 課長 平澤 優子 様

④ 質疑応答

10分

⑤ パネルディスカッション

30分

医療機関による医療専門職支援人材確保・定着の取組み

「医療機関による医療専門職支援人材確保・定着の取組み」をテーマとして、取組み事例の工夫した点や困難だった点、他の病院で展開するときの留意点などを看護補助者や医師事務作業補助者の確保と定着に積極的に取り組んでいる医療機関によりディスカッションいただきます。

ファシリテーター：厚生労働省 医療専門職支援人材確保・定着支援事業 企画検討委員会 委員長 藤岡 丞 様
(医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 院長)

パネリスト：日本赤十字社 神戸赤十字病院 看護副部長 坂根 千絵 様
医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 メディカルクラーク課 課長 平澤 優子 様
公益社団法人日本看護協会 常任理事 井本 寛子 様
一般社団法人STRヘルスケアグループ 常務理事 諸橋 泰夫 様
特定非営利活動法人 日本医師事務作業補助者協会 理事長 矢口 智子 様

申込方法

申込専用サイトより、参加申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込みの締め切りは**2026年2月9日(月) 12:00**となります。本セミナーでは、**参加申込フォームにて事前に皆様からの質問を受け付けております**。なお、いただいた全ての質問にはお答えできない場合がございますのでご了承下さい。申込受付後、本セミナーに参加するためのアクセス方法を、参加申込み時に登録されたメールアドレス宛にお送りしますのでご確認ください。

参加申込URL



<https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/>

ご不明点等は、下記の「お問合せ先」までご連絡願います。

※本セミナーではリモート会議アプリ「ZOOM」を使用します。「ZOOM」の使用方法につきましては申込サイトにて詳しく記載しております。

※事務局業務は、有限責任監査法人トーマツが厚生労働省の委託を受けて実施しております。

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外での目的では使用いたしません。

お問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ 厚生労働省委託事業実施機関

医療専門職支援人材活用セミナー事務局

E-Mail shienzinzai_jimukyoku@tohmatsumatsu.co.jp